



豊岡市広告事業の取り組み ～小さな積み重ねを継続～

市では、自主財源の確保手段として、市の保有する資産の活用による広告事業に平成20年度から取り組んでいる（新市広報紙の広告掲載は、平成17年7月から）。

平成23年度の実績を検証するとともに、さらなる広告事業の推進を図る。

1 平成23年度実績見込（詳細は別表）

（1）広告種別

広告料を徴収するもの

- ・広報紙、パンフレット、封筒などの印刷物
- ・施設（エレベーター）での広告掲示

現物支給を受けるもの（共に広告掲載）

- ・窓口用封筒
- ・豊岡市くらしの便利帳2011

（2）効果額（現時点で、確実な収入見込額）

〔単位 円〕

		H23年度	H22年度	H21年度	H20年度	計
歳入額		2,539,000	3,226,800	3,134,000	2,840,500	11,740,300
歳出削減額	くらしの便利帳	9,295,320		7,341,270		16,636,590
	窓口用封筒	441,000	342,000	357,000	302,000	1,442,000
	計	9,736,320	342,000	7,698,270	302,000	18,078,590
計		12,275,320	3,568,800	10,832,270	3,142,500	29,818,890

（3）検証

平成23年度からの新規広告事業分（豊岡市美術展開催目録、ごみ収集カレンダー、出石永楽館狂言公演チラシ）では、市美術展開催目録に広告掲載の申込みを受けた。今後も新規拡充を進めていく。

平成23年度は、これまで市の広告媒体に掲載申込みをした広告主が継続して申込みする例が少なかった。これは投資に見合う広告効果が得られないなどの理由が考えられる。しかし、広告事業は長い目で見て継続していくことが必要であり、より魅力ある広告媒体への転換、新規広告媒体の提示などにも取り組む。

一部において、長期契約割引を採用するなど広告料金見直しを行う予定

平成23年度の広告事業は、景気の低迷・経済活動の停滞が続くことが影響しているのか、平成22年度と比較すると全体的に申込み・収入共に下回っている。

なお、広告効果額が前年を大きく上回っているのは、現物支給を受けた「豊岡市くらしの便利帳」の発行（印刷製本費と配布料見積額を計上）があったためである。



2 平成24年度新規広告事業

新たに次の広告媒体を予定している（広告場所・スペース・広告料などの詳細は未定）

職員給与明細書

市役所庁用封筒

駅東西連絡道

3 今後のスケジュール

市広報紙（2月10日号）市ホームページなどにより広告事業を周知するとともに広告募集・受付を開始、早いものは4月から広告掲載する。

なお、印刷物などはその作成時期に合わせて、また新規広告事業は詳細決定後、実施に合わせて再度募集を周知する。

<参考>

広告媒体数

H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度(予定)
15	25	26	28	31